

TIC 案内業務事例

【「V」通信 532号 4月(後半)】

カナダ 夫婦 70代(クルーズ客)

Q:扇子、横浜(大さん橋)までのアクセスについて

A:クルーズ利用客で、扇子をお土産に買ってくるようお願いされているらしく、近隣では銀座等もあるが朝はまだ店舗がオープンしていない。しかし「今日 HOPバスに乗る予定で浅草に行く」と話していたため、浅草には扇子も販売しているし、典型的な日本のお土産買うなら浅草は最適な場所のひとつとお伝え。後日再来所された際には、「無事に買うことができた」と話していた。

また、横浜港大さん橋からクルーズに参加するとのことで、滞在している日比谷のホテルから日比谷線日比谷駅→中目黒駅乗換え東急東横線各駅 or 急行元町中華街行き→日本大通り下車としっかり調べてあった。しかし大さん橋のターミナルは坂を上る箇所があるため、スーツケースを押し上げながら歩く負担を考慮し、有楽町から JR 線で桜木町に向かい、そこからタクシーを利用したほうがよいとアドバイスするも、「タクシーは高いし、私は若いから大丈夫」と譲らなかった。

後日再来所し、本日午後いよいよ横浜港へ移動するので日比谷からのアクセスを再確認にいらした。中目黒駅での乗換え方と最終下車駅で運賃精算のご説明は前回してあったが、実はご本人たちも一度は試してみたものの、乗継ぎがうまくいかなかったとのこと。中目黒駅で乗換えの際、駅から出ずにホームの反対側に来る東横線に乗換え、日本大通り駅下車の際に駅員または駅員のいる窓口にて精算するよう再度ご説明した。併せて日本大通り駅からターミナルへの行き方もご案内し、前回同様最後は荷物の負担軽減のため、1F からビルに入ってエレベーターで 2F へ行くようご説明すると、奥様はご納得の様子だったが、ご主人は微妙なご様子であった。無事にたどり着けたか気になるところである。今回のルートを含む都内や近郊に多い鉄道各線の相互乗入れや運賃精算については、言語の問題がなくてもハードルが高く、特に外国籍の方にとってはより混乱しやすいと改めて感じた。

シンガポール 夫婦 40代

Q:桜鑑賞、日本土産

A:「現在どこへ行けば桜(ソメイヨシノ)は見られますか」との問合せ。実際一部のエリアを除き見ごろの時期は過ぎており、青森エリアの桜も散り始めているため、現状北海道(函館など)まで行かないと満開に近い鑑賞は難しいとお伝え。今年は例年に比べ桜の開花が早かったことをお伝えしつつ、春は色々な花の観賞を楽しめるシーズンでもあり、例えば河口湖の芝桜、亀戸天神の藤、昭和記念公園のネモフィラ等、PC 画面でお見せしながらご紹介し、各地のアクセス確認と TIC 作成のフラワーカレンダーも合わせてお渡しした。奥様は花全般がお好きな方で、特に桜を楽しみに来日されたようで、桜のカードをお土産として差し上げるとさらに笑顔になった。

また、「典型的な日本のお土産は何ですか」とのことで、代表的なものでは着物、扇子、人形、緑茶、ポストカードなど様々あるが、都内では浅草などで購入可能とお伝えした。この後東京に3日滞在予定のため、浅草も観光しながらお土産を見てみるとのこと。